



文部科学省

**資料1-4**

科学技術・学術審議会  
産業連携・地域振興部会  
(第10回)R7.1.27

# “わたしとみらい、つながるサイエンス展” について

令和7年1月27日  
科学技術・学術政策局  
産業連携・地域振興課

# “わたしとみらい、つながるサイエンス展”（全体概要）

## 事業目的

大阪・関西万博において、体験型コンテンツの展示等を通じて、産学官連携施策の成果や活動を国内外に広く発信することにより、未来を担う国内外の若者等、来場者が“未来のありたい社会”を想像し、共に社会課題を主体的に捉える機会を提供する。また、未来社会の構想や社会課題解決に携わりたいと考える若者を増加させる。

## 事業内容

### 【企画コンセプト】

あなたは、未来をつくれる人。

「つながる」をテーマに、「自分とつながる」「周囲とつながる」「社会とつながる」「地球とつながる」の4つのゾーンにおいて、来場者の五感に訴えかけるような体験型展示を展開し、来場者が能動的・主体的に未来の創り手として物事を考え、行動に踏み出すことができるような機会を提供する。

### 【実施概要】

#### ◆“わたしとみらい、つながるサイエンス展”

- 実施主体：文部科学省
- 実施期間（予定）：令和7年8月14日（木）～8月19日（火）
- 実施場所：EXPOメッセ ※約2000㎡を利用予定

#### ◆“わたしとみらい、つながるサイエンス展” プレイベント

- 実施主体：文部科学省
- 実施期間：令和7年2月13日（木）～2月16日（日）
- 実施場所：東京有楽町 Tokyo Innovation Base（コワーキングスペース） ※約1000㎡

※本番での中心となる展示を一足先に体験していただけるプレイベントを実施

### 【主な出展者】

産学官連携事業を行う大学等

### 【訴求ターゲット】

#### ①中学生・高校生 / ②国内外の企業・団体

- ・イベントを通じて中高生が能動的・主体的に未来の創り手として物事を考え、行動に踏み出す機会になることを目指す。
- ・「科学者ってかっこいい！」「大人になったら、科学者になって、未来社会の構想や社会課題の解決に携わりたい。」と思ってもらえるような機会を提供する。



※イベントキービジュアル

# “わたしとみらい、つながるサイエンス展”（会場コンセプト）

## 会場コンセプト

### つながる

中高生が自分自身と向き合い自らを知る「**自分とつながる**」ところからスタートし、「**周囲とつながる重要性**」、「**社会とつながる重要性**」を感じながら、視座を高めていき最終的には「**地球ともつながっている自分自身**」を知ることを通して、**能動的・主体的に未来の創り手として 物事を考え、行動に踏み出す機会**を提供できるような会場構成を目指す。

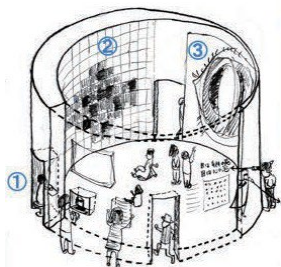
#### ③社会とつながる

社会とのつながりを意識し、社会課題解決のための科学技術に触れるゾーン

大展示

東北大学

眼で見るを診る



#### <提案例>

- 社会生活の中で直面する課題にアプローチした提案
- 人間社会の抱える課題について考える提案

- 身近なコミュニティの繋がりに課題解決を図る提案
- 地域住民とのコミュニケーションを重視した活動、地域振興に関する提案
- 来場者同士のコミュニケーションを促す提案

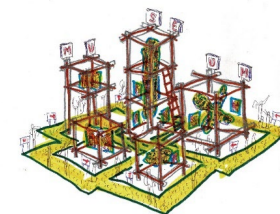
#### ②周囲とつながる

自分だけでなく、周囲（コミュニティ）とつながることの重要性を感じてもらうゾーン

大展示

東京芸術大学

つながる アートの力



#### ④地球とつながる

より大きな地球という概念で考え、地球とつながることにより行動する重要性を体感

大展示

信州大学

アクア・リジェネレーション



- 自然環境と社会との関わりについて考える提案
- 宇宙空間を対象とした研究などの成果活用により、地球を含む様々な課題の解決を目指す提案
- 来場者が地球規模の課題と向き合い、できることを考えさせる提案

- ヒト、生命のあり方そのものにフォーカスした提案
- 心と体の関係にフォーカスした提案
- 来場者が自分自身と向き合える提案

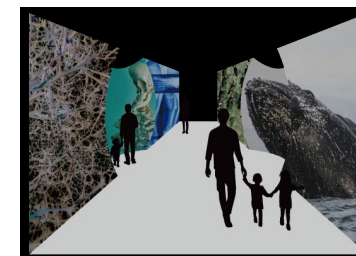
#### ①自分とつながる

自分自身を知り、今回のコンセプトである「つながる」を体験してもらうゾーン

大展示

北海道大学

生命の始まりから  
終わりまで



※その他、中小規模の展示や、学生団体等によるステージイベントなども実施



令和 6 年 12 月 6 日

**わたしとみらい、つながるサイエンス展 ～あなたは、未来をつくれる人～**  
大阪・関西万博の本番イベントに先駆け、プレイベントを令和7年2月に東京で開催します。

文部科学省は、令和7年に開催される大阪・関西万博において、8月14日から19日の6日間、産学官連携施策による研究成果を国内外に発信することを通じて、未来を担う国内外の若者たちが共に社会課題を自分事として捉える機会を提供したいと考えております。それに先駆け、本番での中心となる展示を一足先に体験していただけるプレイベントを令和7年2月13日から16日の4日間、東京で開催します。

### 1. 背景/目的

知と人材の集積拠点である大学等のイノベーション創造への役割が増している中、文部科学省ではこれまで国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）とも連携し、「共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）」（※）等、産学官の連携を支援することによって、革新的な研究成果の創出を進めてきました。

令和7年（2025年）には、「2025年日本国際博覧会」（以下、大阪・関西万博という。）が、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとして開催される予定です。大阪・関西万博では、様々な国・国際機関・企業・団体等が相互に協働しながら事業を企画し、本テーマが実現された未来社会の姿を会場内に作り出すことを目指しています。文部科学省は、8月14日から19日の6日間、この大阪・関西万博というまたとない機会に、体験型コンテンツの展示等を通じて、産学官連携施策の成果や活動を国内外に広く発信することにより、未来を担う国内外の若者等、来場者が共に社会課題を主体的に捉える機会を提供したいと考えております。

これに先駆け、本番での、中心となる展示を一足先に体験していただけるプレイベントを令和7年2月13日（木）から16日（日）の4日間、東京で開催します。

※『共創の場形成支援プログラム』（<https://www.jst.go.jp/pf/platform/>）

令和2年度に開始した本事業では、大学等が中心となり、企業や自治体、市民など、多様なステークホルダーを巻き込みながら、国連の持続可能な開発目標（SDGs）に基づく未来のありたい社会像（拠点ビジョン）を策定するとともに、その達成に向け、バックキャストを通じたイノベーションに資する研究開発と、自立的・持続的な拠点形成のために必要な産学官連携マネジメントシステムの構築を同時並行で推進しております。

## 2. 開催概要

- (1) 展示会名称：わたしとみらい、つながるサイエンス展  
～あなたは、未来をつくれる人～ プレイベント

英語表記：Science: Connecting You to the Future  
－ You Are a Creator of Tomorrow － Pre-event

- (2) 開催期間：令和7年2月13日（木）～2月16日（日）

- (3) 開催場所：TIB(Tokyo Innovation Base) 〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-8-3

- (4) 会場ホームページ：<https://tib.metro.tokyo.lg.jp/>

- (5) キービジュアル



- (6) わたしとみらい、つながるサイエンス展 ～あなたは、未来をつくれる人～  
本件ホームページ：[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/expo\\_watashitomirai/index.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/expo_watashitomirai/index.html)  
※上記 HP はプレイベントのみではなく、万博催事本番期間を通して運用いたします。

### 3. 展示内容

#### (1) 大展示 (4 展示)

##### ◇ライフジャーニー<こころとカラダをみらいにつむぎ、せかいをおもう> (北海道大学 / (連携大学等) 慶應義塾大学)

北海道大学では、共創の場形成支援プログラム地域共創分野本格型「こころとカラダのライフデザイン」共創拠点の取り組みとして、北海道の自治体と若者が自分自身のライフデザインを考える上で大切になる「ヘルスリテラシー」について深く理解し、将来をより豊かに思い描いてもらえるような取り組みを進めています。

「わたしとみらい、つながるサイエンス展」では、人体、健康、自然に関する CG や映像資料を用いて、生命・成長・ライフジャーニーを今までにない映像で表現することを目指しています。

プレイベントでは、映像システムの検証を目的として展示を行います。



##### ◇Hello Future! 100 年ミュージアム (東京藝術大学 / 国立美術館 国立アートリサーチセンター)

私たちの「ART 共創拠点」では、健康の社会的格差を縮める「文化的処方」の取り組みを進めています。「文化的処方」とは、アートや文化を通して、自分の生き生きした感覚や創造性、多様性を再発見し、その人をとりまく時間と空間に「つながり感」を増やす処方です。

この展示「Hello Future! 100 年ミュージアム」は、人々が主体的に作品や資料に出会えるよう体験がデザインされています。ただ展示を見るだけでなく、手を動かし、アートコミュニケーションと話をすることで、自分を取り巻く時間や空間を他の人とシェアすることができます。自分のスマートフォンを使い、誰でも音楽に直接参加して楽しむ新しい音楽体験のワークショップも行います。プレイベントは体験システムの検証を目的として行います。



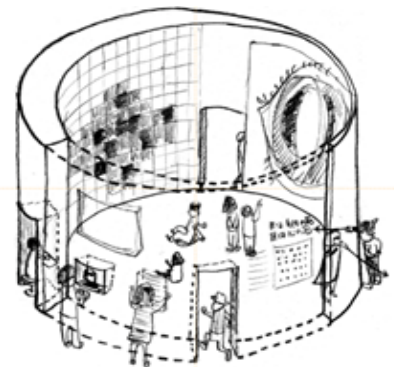
##### ◇「見る」を「診る」- 眼から未来を視る 2040 年のマイクロ診療所 - (東北大学)

眼は世界を観る感覚器官としてのセンサーであると同時に、眼を調べることで眼以外の身体の状態や健康リスクが予測できることがわかってきています。

これが東北大学で力を入れている、「未来型健診」です。眼を中心とした体を傷つけることはない簡易な装置を活用し、将来は、個人宅やコンビニといった場所に小さく簡便な「マイクロ診療所」を展開していく構想です。

東北大学では、このような眼から未来を視る「マイクロ診療所」が社会に普及したと仮定する世界を、プロトタイプして展示します。

この体験を通して、健康的な未来を支えるマイクロ診療所の重要性や眼から広がる未来の可能性を知ってもらうことが目的です。



## ◇水の惑星地球を守れ！アクア・リジェネレーション科学者たちの挑戦（信州大学）

信州大学は、ありたい未来の姿として、水の惑星地球の再生「アクア・リジェネレーション」を提唱しています。

大阪・関西万博では、信大クリスタル・信大逆浸透（RO）膜による浄水・造水技術や、太陽エネルギーで水を分解しグリーン水素を得るソーラー水素のコンテンツを展示し、来場者に「アクア・リジェネレーション」を体験していただきます。

体験を通じて、一人ひとりが、安全な水へのアクセス、水資源の保全及び気候変動の抑制等、「水」にまつわる世界の課題を自分ごととして実感し、そして、身近なことから地球のためにできるポジティブなアクションをみずから起こす、持続可能で豊かな社会の実現に向けた行動変容につなげます。



※掲載されている展示画像はイメージ写真であり、実際の展示とは異なる場合があります。

### （２）中展示（11 展示）

## ◇日本の「森」と「木」を知る（秋田県立大学）

未来に向けて日本の「森」と「木」の多様性と新たな価値創造の可能性を実感してもらうワークショップを開催します。古くから「森」は水を育み、「木」は暮らしと文化を育んできました。私たちと一緒にその魅力に触れてみませんか？

## ◇社長になろう！（つくばグローバル・イノベーション推進機構）

スタートアップの社長となって、社会が直面する課題に挑み、その解決策を提案し、技術と結び付けることを体験するワークショップを開催します。

## ◇大人でもない子どもでもない君達へ～探究型メタバース～（横浜市立大学）

メタバース内において、多様な大人の人生や価値観を表す対話型アバターと交流ができます。体験する若者が今の自分や自分の将来について考えを巡らせ、1人の自分から社会へ接続する体験になればと願っています。

## ◇未来への贈り物 ―アルミからはじまる資源循環社会―（富山大学）

リサイクルを繰り返す社会の実現は環境を守り、未来への贈り物になります。アルミニウムから始まる資源循環型未来都市を実現するためのアイディアトークを行いましょう！

## ◇バイオマスのめぐみがめぐる社会 ～植物由来プラスチックで私たちの未来をどう変える！？～（金沢大学）

再生可能な海洋生分解性バイオマスプラスチックを開発し、社会の中で循環させるシステムを作ること、プラスチック問題を解決し、自然と共生する社会を目指しています。なぜバイオマスプラスチックが必要か？を考える機会を提供します。

### ◇フクの未来、幸福な未来へ（仮称）（福井大学）

生活に欠かせない「服」。その裏側をのぞいてみると…？

私たちの目指す、服を棄てずに何度も生まれ変わらせるテクノロジーを体験し、今日の服の選択から未来とのつながりを感じてください。

### ◇先端科学に基づく文系理系 2000 名の現役高校生と挑む産学官連携による科学に理解ある社会づくり（N プロジェクト（京都大学・大阪高等学校））

ごく普通の高校生が、産学官の力を活用し得られた最先端の知見を直接皆様にお届けします。その資料として用いる 2000 種類のスケッチブックは、現役高校生が先端科学を学び、自ら感じた内容を手作りでまとめた、まさにアート。生きたブースで科学に触れてみてください。

### ◇顕微鏡イメージングの新世界 ～ 透明魚 ～（国立循環器病研究センター）

顕微鏡は、生命の微細な構造を解き明かすツールです。最新の顕微鏡と新発見の動物を使うと、これまでは想像できなかったようなミクロの景色が見えるようになります。さあ、顕微鏡イメージング新世界を体感しましょう。

### ◇卵アレルギーの謎を解く！ ～あなたもゲノム探偵になろう～（広島大学）

今回のイベントでは、卵アレルギーの原因物質を除去した「アレルギー低減卵」を紹介します。遺伝子配列を検索する体験を通して、卵アレルギー研究の応用例について学べる体験型展示を行います。

### ◇希少糖でつくる未来 ー甘さだけじゃない新たな魅カー（香川大学）

希少糖は、カロリー0の夢の素材です。血糖値上昇を抑え、脂肪燃焼を助ける効果があり、今や世界でも大注目！農業や医療、工業など、食品以外の分野でも研究が進んでいます。約 50 種ある希少糖の作り方をゲームで楽しく学びましょう！

### ◇未来の食生産を創造する Blue & Green Revolution（琉球大学）

琉球大学プロジェクトでは、海水魚と植物が共存するアクアポニックス・陸上養殖を体験できます。リアルな研究開発の場を見学しながら、楽しく学べる展示や体験型コンテンツが盛りだくさん！未来の食卓と一緒に探求しましょう！

他に小規模展示や、イベントの象徴となるシンボル展示、ステージ企画等を予定しています。

＜担当＞ 科学技術・学術政策局産業連携・地域振興課  
拠点形成・地域振興室 室長補佐 玉井 利明  
専門職 森谷 匡  
電話：03-5253-4111（代表）  
03-6734-3894（直通）